

中国帰国者が安心して介護を受けられるために

「語りかけボランティア」 養成研修会

語りかけボランティアとは、中国残留邦人のための傾聴ボランティアです。詳しくは裏面をご覧ください。

開催日時

令和4年2月13日(日)
10:00～15:30

参加費
無料

開催場所

アバンセ 4階 第1研修室A
佐賀市天神3-2-11(どんどんの森内)

対象

- ・語りかけボランティア登録希望者
- ・中国残留邦人等に興味のある方

午前の部
10:00～12:00

説明内容: ①中国帰国者の背景と歴史
②センター運営事業について
③語りかけボランティアとは
④介護保険と中国帰国者

説明者: センター職員

午後の部
13:00～15:00

講義テーマ: 高齢者とのコミュニケーション
講師: 合同会社 アウエフキャリア
代表 田島 聡子 氏

※午前または午後のみ参加も可 ※全日修了者には、「修了証書」を発行いたします

ボランティア・中国残留邦人の声

・孤立感の解消の役に立
てていると思う。
・教えられることが沢山
あって、自分のためにも
なった。



・ボランティアが来る
日が待ち遠しい。
・養父母や家族のことで
昔ばなしができるので楽
しい、ほっとする。



申し込み・問い合わせ先

九州中国帰国者支援・交流センター (担当: 林田)
〒816-0804 福岡県春日市原町 3-1-7 クローバープラザ東棟 4階
TEL 092-589-6667 FAX 092-589-6665

中国残留邦人問題のQ & A



Q1 「中国残留邦人」とは、どんな人のことを言うのですか。

先の大戦のあと、日本へ帰る機会を失い、中国で暮らしてきた日本人の方々です。
(日本から見て自国の人という意味で邦人と呼びます。)

Q2 中国残留邦人はなぜ日本に帰れなかったのですか？

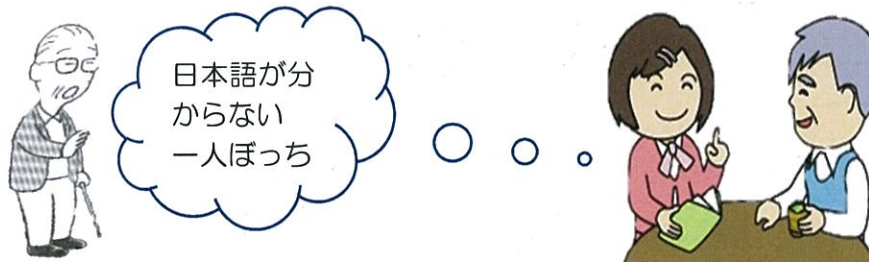
昭和20年8月の終戦後、当時、中国の東北地方(旧満州地区)には、開拓団など多くの日本人が居住していましたが、同年8月9日のソ連軍の対日参戦により戦闘に巻き込まれ、避難中の飢餓疾病等により多くの方が犠牲となりました。このような中、肉親と離別して孤児となり、中国の養父母に育てられた子どもを「中国残留日本人孤児」と、生活の手段を失い、中国人の妻になるなどして中国に留まった婦人を「中国残留婦人等」と呼び、これらの人々を「中国残留邦人」と総称しています。

Q3 中国残留邦人のおかれる現状は？

中国残留邦人の皆さんは、国外に残留を余儀なくされ、長年筆舌に尽くせないご苦労がありました。ようやく日本に帰国された時は、年齢を重ね中高年となっていたため、日本語の習得をはじめ、日本社会に適応していくには大変な困難がありました。なかには20年、30年経っても話せない、適応できないという人も見受けられます。

Q4 語りかけボランティアとは？

中国帰国者1世代の方々には、高齢化に伴い、介護サービスを利用する機会が増えています。日本語未習熟、適応不十分のまま老後を迎えた皆さんは、介護事業所職員や周りの利用者等とのコミュニケーションがうまくとれずに孤立したり、生活習慣の違いから、提供される介護サービスが合わなかったりなどで、介護サービスの利用に困難のある方がいます。



このような帰国者の不安を軽減し、その場に馴染むよう、介護事業所等を訪問して、中国語で帰国者の話し相手になっていただく方を「語りかけボランティア」といいます。

(訪問は週に1回1時間程度です。通訳の代わりに介護サービスへの提供にかかわる事は行いません。)